



前堀 美緒

[2002年度卒業／54回生]
kirakira glass. 代表
ガラスアクリセサリー作家

1984年 広島県出身
2007年 奈良芸術短期大学 専攻科クラフトデザインコース卒業
2007年 ガラス・アート彫工房入社
八木重導 竹内大佑に師事
2014年 独立 kirakira glass.設立
2018年 kirakira glass.体験工房オープン
現在 グループ展など多数出展
2019年 kirakira glass.体験工房 新築店舗建設中 冬季オープン予定

自分自信を信じて続いていると…

思い返せば、小さな頃から塗り絵をしたり、粘土で何かを作る事が大好きでした。

『美術』を自分の進路にしようと決めたのは、高校受験を考え始めた中学3年生の夏の終わり。

『ガラス』という素材に出会ったのは、授業で七宝焼きを体験した高校3年生の冬前でした。

どちらも進路を決めるには遅すぎる時期でしたが、その時その時を必死に考え抜いた自分の答えに不思議と焦りもなく、とても搖るぎない選択でした。

人生には沢山の出会いがあり、ターニングポイントがあります。どんなに大きなターニングポイントでも、どんなに小さなきっかけ程度でも、それを大きく捉えるか小さく捉えるかは自分次第。さらっと流してしまうのかここぞとばかりに選択するのかも自分次第です。

自分で選んだ道はどんな事があっても、諦めずに、楽しんで、続けてきました。そうすればきっと、誰かが見ていてくれて、応援してくれて、認めてくれます。周りの環境がどんどん変化してい

きます。私の様に結婚しても子供を2人産んでも、ガラスを職業として続いているかもしれません。そして自分の工房を建設するという、学生の頃には想像もしていなかった事が起こるかもしれません。

私は飛び抜けて絵が上手だった訳でもないし、何かで賞をもらった事はない。ただ、ガラスが大好きという気持ちは誰にも負けないし、気になった事は積極的に学び、気になった物や場所へは積極的に足を運びました。常に楽しむ気持ちも忘れずに、そして1番大事なことは『続ける』ために努力し続けること。これから先どんな事があっても、ガラスを続けていきたい、続けるためには何をすべきか、その事しか考えていません。

沢山の方の協力があってこそ、今の自分が成り立っているという事には常に感謝しつつも、私の人生をとても豊かなものにしてくれる『ガラス』という道を、これからも信じて楽しみながら続けてみたいと思います。



体験工房でのバーナー体験の様子



ミルフィオリ（金太郎飴のように作るバーナーワークの技法）



完成した作品